

ちよと豆知識

考古学用語

こふんぐん【古墳群】

山麓や台地、平野などに古墳が集まっている状態のことをいいます。特に、古墳時代の終わり頃には数十～数百の小型の古墳が密集して造られることもあります。（群集墳）また、古墳には次のような形があります。

上円下方墳

帆立貝式古墳

円墳

双方中円墳

前方後方墳

方墳

双円墳

八角墳

前方後円墳

たてあなじゅうきょ【竪穴住居】

地面に竪穴を掘って、その上部に屋根をかけた半地下式の住居で、縄文時代～奈良時代にみられる住居の形のひとつです。床面は、円形、方形、長方形などと多様な形をしています。

どういん【銅印】

古代の役所や寺院、貴族の邸宅などで使われていた印（ハンコ）で鳥取県内ではこれまでに、5 例見つかっています。

かたしろ【形代】

神にささげるため、人物や馬などを土や木などで作ったものです。後世に行われる行事で、紙で人の形を作って川に流すものも一種の形代です。

銅印

形代

総合案内

1 鳥取市教育委員会

〒680-8571 鳥取市尚徳町116番地
☎0857-22-8111 FAX / 0857-20-3040
URL / http://www.city.tottori.lg.jp/

2 因幡万葉歴史館

〒680-0146 鳥取市国府町町屋726
☎0857-26-1780 FAX / 0857-26-1781
URL / http://www.tbz.or.jp/inaba-manyou/

3 鳥取市歴史博物館

〒680-0015 鳥取市上町88
☎0857-23-2140 FAX / 0857-23-2149
URL / http://www.tbz.or.jp/yamabikokan/

4 鳥取県教育委員会事務局 文化財課

〒680-8570 鳥取市東町1丁目271
☎0857-26-7524 FAX / 0857-26-8128
URL / http://www.pref.tottori.lg.jp/bunkazai/

5 鳥取県埋蔵文化財センター

〒680-0151 鳥取市国府町町屋下1260 ☎0857-27-6711
URL / http://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/
JR鳥取駅から路線バス岩倉・中河原方面行で「岩倉」下車、徒歩10分 P 5台

6 鳥取県立博物館

〒680-0011 鳥取市東町2丁目124 ☎0857-26-8044
URL / http://www.pref.tottori.jp/museum/
JR鳥取駅から「100円循環バスくる梨」青コース「仁風閣・県立博物館」下車すぐ P 21台

各情報ポイントは鳥取県のココにあるよ!!

インフォメーションMAP

7 財鳥取県教育文化財団調査室

〒680-1133 鳥取市源太12番地 ☎0857-51-7552
URL / http://business4.plala.or.jp/kyo-bun/

8 八頭町教育委員会生涯学習課

〒680-0601 八頭郡八頭町北山63-1 ☎0858-84-1232
URL / http://www.town.yazu.tottori.jp/

9 鳥取県埋蔵文化財センター青谷調査室

〒689-0592 鳥取市青谷町青谷667（鳥取市青谷町総合支所2階）☎0857-85-5011
URL / http://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/
JR青谷駅から徒歩約10分 山陰道青谷ICから車で5分 P 50台

10 青谷上寺地遺跡展示館

〒689-0501 鳥取市青谷町青谷4064 ☎0857-85-0841
URL / http://www.tbz.or.jp/kamijichi/
JR青谷駅から徒歩約3分 山陰道青谷ICから約500m P 20台

11 鳥取県立むきばんだ史跡公園

〒689-3324 西伯郡大山町妻木1115-4 ☎0859-37-4000
URL / http://www.pref.tottori.lg.jp/mukibanda/
休日の第4月曜日 JR淀江駅下車（平日のみむきばんだ史跡公園まで運行する「どんぐりバス」あり）山陰道淀江ICまたは大山ICから5分 P 60台

12 三朝町教育委員会

〒682-0195 東伯郡三朝町大瀬999-2 ☎0858-43-1111
URL / http://www.town.misasa.tottori.jp/

●鳥取県埋蔵文化財センター販売図書の御案内●

鳥取県埋蔵文化財センターでは、一般向けの解説図書や調査・研究の成果をまとめた図書を販売しております。

新刊図書

●鳥取県の考古学 第1巻 旧石器・縄文時代 恵みとくらし

●A4判／本文68ページ／267g
●頒布価格480円（送料：1冊の場合290円）
県内の最新の発掘調査成果を写真やイラストで紹介するシリーズ冊子の第1巻。
県内の旧石器時代や縄文時代の様相や当時の人々のくらしぶりについて紹介しています。

●青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報2010

●A4判／本文50ページ／274g
●頒布価格370円（送料：1冊の場合290円）
平成22年度に行った青谷上寺地遺跡第12次調査の発掘調査概要報告と、平成21年度に行った遺跡分布調査および資料調査の報告、資料紹介等を併せて収録した調査研究年報です。

●国史跡青谷上寺地遺跡ミニフォーラム 自然への備えと挑戦－青谷上寺地遺跡の土木技術と現在－

●A4判／本文42ページ／251g
●頒布価格370円（送料：1冊の場合290円）
平成22年10月に開催したミニフォーラムの記録。広く世界的な視野から土木技術の歴史をたどる「特別講演」、文化財主事と土木技師が弥生から現代までの土木技術をわかりやすく解説する「鼎談」の二部構成で、自然に立ち向かった弥生人の英知に迫ります。

●青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告6 金属器

●A4判／本文198ページ／861g
●頒布価格1,200円（送料：1冊の場合340円）
青谷上寺地遺跡において第12次調査までに出土した金属器（青銅器・鉄器）全410点を網羅した調査研究報告書。また出土漢鏡の考古学的意義や、鋳造鉄斧の形態変化と破片利用について検討した論考なども併せて収録しています。

●青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告7 骨角器（2）

●A4判／本文92ページ／431g
●頒布価格860円（送料：1冊の場合290円）
青谷上寺地遺跡第1次調査で出土した骨角器の調査研究報告書の完結編。
青谷上寺地遺跡における骨角器製作の全体像や他地域との比較のほか、動物考古学的な視点からの論考も併せて収録しています。

既刊行図書

『鳥取県の考古学』シリーズ

県内の最新発掘調査成果を写真やイラストで分かりやすく紹介するシリーズ冊子。全部で6巻を刊行予定で、現在までに第2巻から第5巻までの4冊を刊行しています。

■『鳥取県の考古学 第2巻 弥生時代Ⅰ 稲作とくらし』（A4判／本文55ページ／210g／頒布価格630円）
■『鳥取県の考古学 第3巻 弥生時代Ⅱ 戦いと交流 墓とまつり』（A4判／本文56ページ／215g／頒布価格280円）
■『鳥取県の考古学 第4巻 古墳時代Ⅰ 古墳』（A4判／本文56ページ／210g／頒布価格360円）
■『鳥取県の考古学 第5巻 古墳時代Ⅱ くらしと社会』（A4判／本文50ページ／200g／頒布価格400円）

『青谷上寺地遺跡』シリーズ

青谷上寺地遺跡で出土した資料を用いた講演会やフォーラムの資料集。多種多様な建築部材からの建物の復元や、美しい花卉高杯についての製作技術や交流について分かりやすく解説しています。

■『青谷上寺地遺跡講演記録集「楼観」再考－青谷上寺地遺跡のながい柱材をめぐる－』（A4判／本文28ページ／135g／頒布価格410円）
■『青谷上寺地遺跡講演記録集「弥生時代「最長の垂木」の発見と復元」』（A4判／本文28ページ／155g／頒布価格350円）
■『青谷上寺地フォーラム「弥生時代の至宝－花卉高杯とその背景－」』（A4判／本文40ページ／180g／頒布価格500円）
■『第10回弥生文化シンポジウム「倭と韓－青谷上寺地遺跡は語る－」』（A4判／本文78ページ／360g／頒布価格500円）
■『青谷上寺地遺跡8 第2次～第7次発掘調査報告書』（A4判／本文296ページ／900g／頒布価格2,700円）
■『青谷上寺地遺跡10 第9次発掘調査報告書』（A4判／本文284ページ／900g／頒布価格1,500円）
■『青谷上寺地遺跡11 第10次発掘調査報告書』（A4判／本文153ページ／680g／頒布価格1,400円）
■『青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報2009』（A4判／本文26ページ／190g／頒布価格320円）

『青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告』シリーズ

「地下の弥生博物館」と言われる青谷上寺地遺跡から出土した多種多様な遺物について、学術的に整理・研究した報告書。

■『青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告1 木製容器・かご』（A4判／本文166ページ／745g／頒布価格1,890円）
■『青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告3 建築部材（資料編）』（A4判／本文100ページ（DVD付属）／550g／頒布価格1,890円）
■『青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告4 建築部材（考察編）』（A4判／本文150ページ／700g／頒布価格1,100円）
■『青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告5 骨角器（1）』（A4判／本文151ページ／750g／頒布価格1,300円）

『調査研究紀要』シリーズ

主に文化財主事が行った調査研究の成果等を公表し、広く県内外に情報発信する冊子

■『調査研究紀要3』（A4版／本文50ページ／310g／頒布価格400円）

販売場所

鳥取県埋蔵文化財センター、鳥取県庁県民室、鳥取県内の東部・中部・西部・八頭・日野の各総合事務所県民局で販売しています。

郵送について

郵送御希望の方は、本の代金（現金）と「ゆうメール」の送料（切手）を現金書留で鳥取県埋蔵文化財センターへお送り下さい。なお、複数冊ご注文していたく場合は、送料が異なるため鳥取県埋蔵文化財センターへお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせ先

〒680-0151 鳥取市国府町町屋下1260番地 鳥取県埋蔵文化財センター
電話 0857-27-6711 FAX 0857-27-6712
埋蔵文化財センターメールアドレス maibuncenter@pref.tottori.jp

◆販売している場所

※平日8時30分から17時15分まで受付。土・日曜、祝日、年末年始は休み

場 所	電 話	住 所
鳥取県埋蔵文化財センター	0857-27-6711	〒680-0151 鳥取市国府町町屋下1260
鳥取県庁県民室（県庁本庁舎1階）	0857-26-7752	〒680-8570 鳥取市東町1-220
東部総合事務所県民局県民課	0857-20-3656	〒680-0061 鳥取市立川町6-176
八頭総合事務所県民局企画県民課	0858-72-3968	〒680-0461 八頭郡八頭町郡家100
中部総合事務所県民局県民活動課	0858-23-3983	〒682-0802 倉吉市東蔵城町2
西部総合事務所県民局企画県民課	0859-31-9634	〒683-0054 米子市桜町1-160
日野総合事務所県民局企画県民室	0859-72-2083	〒689-4503 日野郡日野町根雨140-1

TOTTORI KOUKOGAKU KIKOU 2011 NATSU-GO

とっとり 考古学紀行 2011 夏号

鳥取の考古学・文化財情報を「キュウジ」と濃縮100%!!

1800年前の青谷上寺地遺跡の景観を復元したCG 鳥取県埋蔵文化財センターのHPで絶賛公開中
▶http://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/

…発掘調査情報

アイコンの見た

場：場所(会場)
期：開催期間
休：休館日
時：実施時間
入：入館料
調：調査団体
見：見頃
見：見頃

…イベント・展示会情報

期：開催期間
休：休館日
時：実施時間
入：入館料
調：調査団体
見：見頃
見：見頃

楽しい

イベント & 展覧会情報

●センター古代祭り

おすすめ情報

「発掘体験コーナー」など、多くの古代体験コーナーが楽しめるイベントです。いろいろなコーナーで思いっきり古代の体験を楽しんだ後、「夏休みの自由研究コーナー」で宿題も完成できます。

場

鳥取県埋蔵文化財センター

期

8月6日(土)

時

10時～15時

料

無料

主

鳥取県埋蔵文化財センター（総合案内⑤）

めざせ考古学者！「発掘体験コーナー」

おすすめ情報

「発掘体験コーナー」など、多くの古代体験コーナーが楽しめるイベントです。いろいろなコーナーで思いっきり古代の体験を楽しんだ後、「夏休みの自由研究コーナー」で宿題も完成できます。

場

鳥取県埋蔵文化財センター

期

8月6日(土)

時

10時～15時

料

無料

主

鳥取県埋蔵文化財センター（総合案内⑤）

7月

●来て! 見て!! さわって!!! とっとり発掘速報展

おすすめ情報

ショッピングモール2箇所で開催の発掘調査で出土したいろいろな遺物や写真パネルを展示します。タッチングコーナーでは縄文土器などに触れていただけます。

場

イオン鳥取北店（東部展） パープルタウン（中部展）

期

7月22日(金)～24日(日) 9時～23時(東部展) / 9月9日(金)～11日(日) 10時～20時(中部展)

※タッチングコーナーは開催期間中の13時～17時

料

無料

主

鳥取県埋蔵文化財センター（総合案内⑤）

●夏休み子ども講座「ドキドキ土器づくり」

おすすめ情報

土粘土を使用した土器づくり
・定員：各20名 ・要予約
・参加資格：小学生以上中学生以下の児童・生徒

場

青谷上寺地遺跡展示館

期

7月31日(日)

時

10時～正午、14時～16時（2回）

交

JR青谷駅から徒歩約3分

山陰道

青谷ICから約500m

料

無料

主

青谷上寺地遺跡展示館（総合案内⑩）・鳥取市教育委員会・（財）鳥取市文化財団

●国史跡青谷上寺地遺跡土曜講座

おすすめ情報

発掘調査や様々な出土品の調査を通じて描き出される青谷上寺地遺跡の最新の研究成果を楽しく学べる講座です。
・要申込 ・定員100名

場

鳥取市青谷町総合支所多目的ホール

期

7月9日(土)：弥生人の描いた絵 9月10日(土)：漢代の文物と青谷上寺地遺跡

時

13時30分～15時

料

無料

主

鳥取県埋蔵文化財センター青谷調査室（総合案内⑨）

●むきばんだ弥生講座②「弥生土器づくり」（初級コース）

場

むきばんだ史跡公園

期

7月16日(土)・17日(日)

時

10時～15時

料

無料

主

むきばんだ史跡公園（総合案内⑩）

8月

●おうちだに工房ものづくり教室・玉つくり教室（勾玉・ガラス玉）

おすすめ情報

やまびこ館のものづくり教室です。今回は恒例のガラス玉・勾玉を作ります。要予約、対象はこども（小学生以上）

場

鳥取市歴史博物館

期

8月6日(土)・7日(日)

時

10時～正午、14時～16時（2回）

定員

各20名

料

500円

交

JR鳥取駅より「100円循環バスくる梨」赤コース

やまびこ館前下車徒歩3分

鳥取駅から5分

料

60台

第一・第二駐車場

主

鳥取市歴史博物館（総合案内③）

9月

●むきばんだ遺跡秋麗まつり

おすすめ情報

収穫祭や古代食の試食などの古代体験、ココでしか買えない「弥生市」などメニュー盛りだくさん。秋の美りを祝う弥生のムラの秋祭りに、さあ、みんなで遊びにおいで！（申込不要）

場

むきばんだ史跡公園

期

9月23日(金・祝)

時

10時～15時30分

料

無料

交

JR平日は、淀江駅から史跡公園前まで「どんぐりバス」あり

山陰道淀江IC、大山ICから5分

料

60台

主

むきばんだ史跡公園（総合案内⑩）

●歴史講座「貝の腕輪をつくろう！」

おすすめ情報

二枚貝をくりぬいて、古代のプレスレット「貝輪」を作ります。
・対象：小学校4年生～一般（小学生は保護者同伴）
・定員：20名 ・持ち物：車手・汚れてもよい服装
・要申込 ・受付期間：8月26日(金)～9月16日(金)（※電話のみ）

場

山陰海岸学習館

期

9月23日(金・祝)

時

13時～15時30分

料

100円【予定】

交

JR山陰線鳥取駅より「浜坂行き」で若美駅下車（約25分）→町営バス7分またはタクシー 5分、自転車20分

鳥取駅から30分、若美駅から5分

料

17台

館周辺

主

鳥取県立博物館（総合案内⑥）

注目

発掘現場を訪ねてみませんか！

発掘調査情報

●東部の発掘現場・発掘情報

史跡 青谷上寺地遺跡【しせき あおやかみじちいせき】

見どころ

今年度の調査は、遺跡中心城西側に巡らされた区画溝の変遷を追及します。今までの調査で、場所や時期によって区画溝の様相が異なっていることが明らかになってきています。今年度の調査により、青谷上寺地遺跡を特徴付ける区画溝の在り方や集落様相の変遷が、より明らかになることが期待されます。

場

鳥取市青谷町青谷

期

5月下旬～11月下旬

見

9月以降

見

月～金曜日（祝日は除く）9時～16時まで（但し雨天を除く）

現

10月下旬～11月上旬を予定（開催日時はホームページ等でお知らせします）

交

JR青谷駅から徒歩15分

山陰道青谷ICから約3分（駐車場まで）

料

10台

青谷上寺地遺跡展示館駐車場（発掘調査地まで徒歩約15分）をご利用ください。

調

鳥取県埋蔵文化財センター青谷調査室（総合案内⑨）

●高住井手添遺跡【たかすみいでそいせき】

見どころ

縄文時代の生活のあとが見つかりつつあります。

場

鳥取市高住

期

5月～11月末

見

11月上旬頃

見

随時（9時～16時まで）

現

10月下旬頃（予定）

交

日ノ丸バス「吉岡線」高住下車

料

10台

発掘調査地隣接地

調

（財）鳥取県教育文化財団調査室（総合案内⑦）

●奈免羅・西の前遺跡、上野遺跡【なめら・にしのまえいせき、かみのいせき】

見どころ

県道河原インター線道路改良工事に伴う本調査。平成21年度調査で山陰地方初となる有鈎銅鉋が出土した区域を含む発掘調査。これまでの調査では、弥生～古墳時代の竪穴住居跡や土器基からなる古墳群などが確認されています。

場

八頭町船岡、下濃～上野地内

期

4月～12月

見

7月～10月

見

月～金曜日（祝日は除く）9時～16時

現

詳細未定（11月頃）

交

若桜鉄道因幡船岡駅下車、徒歩15分

料

50台

八東川河川公園を利用

調

八頭町教育委員会（総合案内⑧）

●中部の発掘現場・発掘情報

名勝及び史跡三徳山【めいしょうおおよびしせきみとくさん】

見どころ

三徳山の歴史を明らかにする為に本年度は通称「鈴が岩」付近のトレンチ調査を予定しています。

場

三朝町三徳

期

9月1日～9月30日（予定）

調

三朝町教育委員会（総合案内⑩）

●律令制と因幡国（仮称）

おすすめ情報

律令制の波及と浸透が地方にどのような影響を与えたのかを、地方の視点から紹介する展覧会です。

場

因幡万葉歴史館

期

9月17日(土)～10月30日(日)

時

9時～17時

休

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日、祝日の翌日）

料

大学生・大人：個人500円 団体（20名以上）400円、高校生以下・65歳以上無料

交

鳥取駅バスターミナル3番のりばから日ノ丸バス「中河原線」乗車、「因幡万葉歴史館」下車すぐ、もしくは「因幡万葉歴史館入口」下車、徒歩5分。

鳥取駅から雨滝方面へ約15分

料

100台

因幡万葉歴史館前

主

因幡万葉歴史館、（財）鳥取市文化財団 共催：鳥取市教育委員会

調

因幡万葉歴史館（総合案内②）

●第8回池田家墓所燈籠会

場

史跡鳥取藩主池田家墓所

期

9月24日(土)

時

未定

料

無料

主

（財）史跡鳥取藩主池田墓所保存会

調

鳥取県教育委員会事務局文化財課内（総合案内④）

西部の発掘現場・発掘情報

史跡 妻木晩田遺跡【しせき むきばんだいせき】

見どころ

今年度は妻木晩田遺跡の墳墓域の実態解明を目的に、仙谷地区の調査を実施します。仙谷地区は洞ノ原地区に続いて墳丘墓が築かれた地区で、このうち妻木晩田遺跡の中で最大規模を誇る仙谷 1 号墓周辺の調査を行い、妻木晩田遺跡の墓域の実態を明らかにしていきます。

場

大山町富岡

期

4月下旬～9月末

見

8月以降

見

月～金曜日（祝日は除く）10時～15時まで

※整備工事等の都合により公開できない場合があります。見学を希望される場合は事前にお問い合わせ下さい

交

平日は、淀江駅から事務所前まで「どんぐりバス」あり

山陰道淀江IC、大山ICから5分

料

60台程度

むきばんだ史跡公園

調

むきばんだ史跡公園（総合案内⑩）

●倉谷荒田遺跡【くらだにあらたいせき】

見どころ

弥生～古墳時代の集落跡ほか

場

大山町倉谷

期

4月下旬～11月下旬

見

10月頃

見

月～金曜日（祝日は除く）9時～16時まで（ただし、雨天を除く）

現

詳細未定

交

小竹農免農道沿い

料

3台程度

調

鳥取県埋蔵文化財センター（総合案内⑤）

くらだににしかだ いせき

倉谷西中田遺跡

時代等

平安～室町時代の集落跡ほか

場

大山町倉谷

期

9月下旬～11月下旬

調

鳥取県埋蔵文化財センター（総合案内⑤）

とよしげのうばやし いせき

豊成叶林遺跡

時代等

弥生～古墳時代の集落跡ほか

場

大山町豊成

期

4月下旬～11月下旬

調

鳥取県埋蔵文化財センター（総合案内⑤）

とのかわちさだやのまえ いせき

殿河内定屋ノ前遺跡

時代等

弥生時代の集落跡

場

大山町殿河内

期

7月～8月

調

鳥取県埋蔵文化財センター（総合案内⑤）

とのかわちかみのだんおおぶけ いせき

殿河内上ノ段大ヅケ遺跡

時代等

縄文時代の集落跡

場

大山町殿河内

期

7月上旬～11月下旬

調

鳥取県埋蔵文化財センター（総合案内⑤）

あかざかしらなし いせき

赤坂頭無し遺跡

時代等

古墳時代の集落跡

場

大山町赤坂

期

4月下旬～11月下旬

調

鳥取県埋蔵文化財センター（総合案内⑤）

いわい がきかみ がはらい いせき

石井垣上河原遺跡

時代等

弥生時代の遺跡

場

大山町石井垣

期

4月下旬～11月下旬

調

鳥取県埋蔵文化財センター（総合案内⑤）

あかざこ ろやま いせき

赤坂小丸山遺跡

時代等

弥生～古墳時代の集落跡ほか

場

大山町赤坂

期

4月下旬～11月下旬

調

鳥取県埋蔵文化財センター（総合案内⑤）

さかちようだいなん いせき

坂長第7遺跡

時代等

縄文時代～古代の水路・水田跡

場

伯耆町坂長

期

5月～11月15日

調

（財）鳥取県教育文化財団調査室（総合案内⑦）

さかちようだいはち いせき

坂長第8遺跡

時代等

縄文時代・古墳時代の遺跡

場

伯耆町坂長

期

5月～11月15日

調

（財）鳥取県教育文化財団調査室（総合案内⑦）

こしき さんてい ふんぐん

越敷山古墳群

時代等

古墳時代の古墳群

場

伯耆町金廻

期

5月～11月15日

調

（財）鳥取県教育文化財団調査室（総合案内⑦）

こんなのもありました！

発掘調査の成果

■国史跡青谷上寺地遺跡

現在、「交易拠点としての港湾集落」の姿を明らかにすることを目的に発掘調査を継続実施しています。

昨年度の調査では、遺跡中心域南側を区画する溝（SD33）と木造構造物（SW1）、遺跡中心域東側を区画する溝（SD27）の続きが見つかり、弥生時代中期の終わり頃（約2000年前）から古墳時代前期の始め頃（約1700年前）における中心域南側の区画の移り変わりが明らかにになりました。「星雲文鏡」という本州で初となる中国の前漢時代の鏡も出土しました。

■下市築地ノ峯東通第2遺跡

9世紀後半から10世紀にかけて操業したと考えられる須恵器窯3基と製鉄炉1基、炭窯23基が見つかりました。須恵器窯からは瓦も出土し、一時的に瓦も焼いていたと考えられます。

この遺跡では、須恵器と鉄の生産が合わせて行われていたことが明らかになり、古代の須恵器や鉄の生産をどのように行っていたのかを考えている手がかりが得られました。